

令和6年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	19,175,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,698.00㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、事務室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,398	14,870	13,961	12,782	12,271
	移動児童館利用者数	231	1,031	104	1,695	105
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※6(0)	※9(0)	※3(0)	※9(9)	※2(2)
	開館日数(単位:日)	144	147	143	148	144

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①岐阜市児童館条例施行規則第3条のとおり履行。開館時間は9:00～17:00までとしました。 ②所長(兼務)、常勤職員(児童厚生員3人)を配置。 ③児童用おたよりは毎月小学校に配布。幼児用おたよりは保健センター、公民館及びもえぎの里に掲示依頼。 また、ホームページ、インスタグラム、子育て支援アプリを活用して、行事案内や活動内容等をタイムリーに情報発信しました。 ④ご意見箱の設置。苦情については、施設長を責任者として解決にあたるしくみ・申出先を館内掲示し、適切に対応できる体制をとっています。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアル通りに実施しました。 ②職員による館内清掃は毎日実施。さらに週2回就労継続支援B型事業所による徹底した清掃を実施しました。その他業者によるカーペット、窓等の清掃を行い、快適な空間を保持しました。 ③使用していない部屋の消灯や、こまめなエアコンのオフを実践。さらに、窓の開閉による温度調整を行うなど、節エネ対策を講じました。また工作には廃材を利用し、環境に配慮した施設運営を心掛けました。 ④職員による施設の点検を実施し、不具合個所の早期発見につなげています。玩具は、片付けや消毒の際に点検して、職員による修繕が無理なものについては、おもちゃ病院に依頼するなどして対応。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①②軽微で職員対応が可能なものは、即時対応。それ以外については、当法人事務局と相談し、業者へ修繕を依頼。ただし、玩具は「おもちゃ病院」に修理を依頼しました。大規模で緊急性があるものについては、岐阜市に報告及び修繕要望をしています。日々の点検で安全性に疑問が残る箇所について、職員間で話し合った結果、ホール上がり段の保護材の取り付けと衝立撤去工事を行い、子どもたちが安心して遊べる空間にしました。
危機管理法 令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①②③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対応マニュアル、児童福祉法等関係法令等を遵守し、適切に実施しました。災害や事故などが発生した場合は岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。個人情報記載の用紙は、すべてシュレッダー処理を行うなど情報漏洩の防止を徹底。また、2月には、併設する高齢福祉センターと合同で消防訓練を実施しました。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年12月3日～12月23日 回答者数: 100人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年12月26日～令和7年1月27日 回答者数: 50人(小学: 1年8人、2年5人、3年3人、4年3人、5年20人、6年8人) (中学: 1年3人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 柳津(28人)、鶉(16人)、茜部(11人)、市橋(7人)、三里(5人)、且格(3人)、鏡島(2人)、厚見(2人)、本荘(2人)、その他市内(2人)、その他市外(22人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(11%)、30代(72%)、40代(14%)、50代以上(3%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(6%)、ほぼ毎日(2%)、週2～3回(16%)、週1回(35%)、2週間に1回(22%)、月1回(18%)、未記入(1%)</p> <p>【来館相手】 子・孫(96%)、友人(4%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0才(15%)、1才(44%)、2才(33%)、3才以上(8%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(2%)、自転車(3%)、自家用車(94%)、公共交通機関(1%)</p> <p>ホームページ(52%)、広報紙・チラシ(8%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(20%)、ぎふし子育て応援アプリ(5%)、ブログ・SNS等のソーシャルメディア(6%)、その他(8%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(91%)、ほぼ満足(6%)、普通(2%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(91%)、ほぼ満足(5%)、普通(2%)、やや不満(2%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(89%)、ほぼ満足(7%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(2%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(80%)、ほぼ満足(14%)、普通(4%)、やや不満(1%)、不満(0%)、無回答(1%)</p> <p>(整理整頓) 満足(87%)、ほぼ満足(10%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(2%)</p> <p>(清潔感) 満足(81%)、ほぼ満足(14%)、普通(2%)、やや不満(1%)、不満(0%)、無回答(2%)</p> <p>(換気) 満足(77%)、ほぼ満足(16%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(2%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 柳津小学校(47人)、境川中学校(3人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(16%)、2年(10%)、3年(6%)、4年(6%)、5年(40%)、6年(16%) 中学: 1年(6%)、2年(0%)、3年(6%) 高校: 1年生(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(0%)、週4・5回(6%)、週2・3回(38%)、週に1回(38%)、その他(16%)</p> <p>【来館相手】 ひとりで(4%)、友人(84%)、兄弟姉妹(9%)、父母(4%)、祖父母(0%)、親戚(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(22%)、自転車(44%)、自家用車(34%)、その他(0%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(35%)、バドミントン(16%)、フラフープ(9%)、卓球(8%)、マンカラ(8%)、ぬりえ(7%)、カロム(4%)、その他(13%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p><保護者></p> <p>○たまに電池が切れているおもちゃがある。 →ご迷惑をおかけしました。電池が切れた場合は入れ替えるようにしていますが、気が付かない場合もありますので、教えていただけたらすぐに交換させていただきます。</p> <p>○トイレのオムツ交換台のベッドが利用しづらい。 →ご迷惑をおかけしました。今現在、オムツの交換用ベッドを置ける場所が多目的トイレしかない状態です。利用しづらい理由を聞かせていただけないでしょうか。他の利用者の方にも伺い、対処できるように職員で検討していきます。</p> <p>○イベントの申し込みが電話でできるとうれしい。 →申し込み結果、定員を超えた場合のお知らせ方法や、日程、持ち物等の引換券を直接お渡ししたいためご来館頂いての申し込みとさせていただきます。お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>○駐車場を増やしてほしい。 →高齢者センターと共用のため、イベントが重なるとどうしても満車になる場合があります。小学校の西隣の空き地に停めさせていただけるよう、学校にお願いしてありますので、ご不便をおかけしますが、満車時にはそちらをご利用ください。</p> <p><児童></p> <p>○遊戯室で遊べる時間を延長してほしい →ゆうぎしつをつかいたいというおともだちがほかにもたくさんいます。みんなが楽しくつかうために15分でおねがいしています。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A
⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A
区分評価				A		
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

□広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②)
 ・Instagramによる広報宣伝活動の充実
 昨年度からタブレット端末を活用したInstagramを始めました。写真やリール動画を配信し、情報を幅広い年齢層にスピーディーに提供しています。(下半期投稿回数72回、329件のいいね)
 ・子育て応援アプリの活用(再掲②⑥)
 ホームページや、Instagramのほかに、子育て支援アプリ(母子モ)を活用し、行事等イベント情報を掲載して広く市民から参加者を募っています。徐々にアプリをみてイベントに参加したという利用者の声も聞かれるようになりました。

□業務改善や工夫(効果性③)
 ・岐阜聖徳学園大学看護学科の学生と幼児とのふれあい(再掲③⑭)
 実習の一環として、学生と利用者とのふれあいの場を設けました。母親は自分の子供の数年後の姿を思い浮かべながら学生たちと楽しく会話をしていました。また、当初は幼児クラブを見学するだけの予定でしたが、学生たちに一緒に活動に参加してもらい、子どもたちと仲良く遊びました。子ども達も大変喜んでいました。
 ・3世代間交流事業(しめ縄づくり)(再掲③⑭)
 老人クラブ、JAぎふ、児童とその親でしめ縄づくりを行いました。大人に教えてもらいながら試行錯誤取り組むものの、なかなか思うようにいかず時間もオーバーしましたが、その分完成した時の喜びは倍増で、「家に帰ったらすぐ飾ろう」と大満足の様子でした。

□新規事業(行事)等の実施(効果性③)
 ・職員による絵本の読み聞かせ
 これまで、ボランティアによる読み聞かせを行ってきましたが、新たに職員による「よみきかせの会」を開催しました。アンケートで「お気に入りの絵本」「あったらうれしい絵本」を調査し、それを参考に新しく絵本を購入して実施しました。子ども達の生き生きとした目が印象的でした。
 ・絵本ライブの開催
 通常の読み聞かせではなく、音や動きとの競演による絵本の読み聞かせ「絵本ライブ」を3月に開催しました。講師を依頼し、楽器と歌を交えながら楽しく読み聞かせをしてもらいました。予定を大きく上回る応募がありましたが、せっかくの機会のため全員に参加してもらいました。子ども達は、いつもと違う読み聞かせに興奮した様子で、体を動かして喜びを表現しており、親からも大変好評でした
 ・父親参加の講座の実施(再掲③⑥)
 母親ばかりでなく、父親と一緒に児童館で遊んでもらおうとの思いから、土曜日の午前に「パパとあそぼう」を企画しました。最初は参加者があるかと心配しましたが、予想外に多くの参加者があり、父親と楽器や風船などで遊びました。参加者からは、「子どもと楽しい時間が過ぎて良かった」との多くの声をいただきました。職員も、いつもの幼児クラブとは違った雰囲気でもとても新鮮でした。”
 ”◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。
 ・毎月行っている小学生のクラフトクラブで、職員の代わりに、子ども達が自発的に臨時的先生になって、みんなに作り方を教えました。どうしたら上手に教えられるか、どう伝えたらよいかを自分なりにいろいろ考え、不安になりながらも、最後までしっかりと教えることができ、良い経験になりました。
 ・3月に実施した「よみきかせの会」では、職員だけでなく、小学生ボランティアによる絵本のよみきかせもプログラムに入れました。事前に何回も練習して臨みましたが、本番ではやや緊張気味でした。それでも、大きな声で最後までやり切り、子ども達にとって大きな自信に繋がりました。

□利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④)
 ・以前から活動の妨げになっていた2階ホールの衝立について、倒れる危険性もあることから、撤去工事を行いました。動線もすっきりし、広くなって親からも喜ばれています。また、リスク回避の観点から、上がり段の保護材取り付け工事を行いました。この案件については、利用者からも意見が上がっていたもので、迅速に対応しました。(再掲④⑤)
 ・新しい絵本の購入
 アンケート実施時に、「好きな絵本」「あったらうれしい絵本」の項目を設けて利用者のニーズを把握し、絵本購入の参考にしました。新たに買った絵本は、職員による読み聞かせ「よみきかせの会」で、実際に読み聞かせをしました。

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか(効果性④)
 ・不登校生への居場所の提供
 上半期に引き続き、境川中学の不登校生徒に、遊戯室を居場所として提供しました。当日は、相談員の方と来館し、バドミントン等など軽い運動をして気分転換をしていきます。時には、来館した親子と笑顔で会話する姿も見られました。
 □利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤)
 ・絵本のローテーションの実施
 市が購入した幼児向け絵本20冊のうち10冊を、毎月、事業団管理の9施設でローテーションしました。これにより、各施設で様々な絵本に触れる機会を提供することができました。
 ・利用者のお出迎えとお見送りを必ずすることで、また訪れたいくなる雰囲気づくりに努めています。その結果、アンケートでも職員に対する高評価を得ており、今後も継続して行っていきます。

□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)
 ・父親参加型の講座の実施(再掲③⑥)
 母親ばかりでなく、父親と一緒に児童館で遊んでもらおうとの思いから、土曜日の午前に「パパとあそぼう」を企画しました。最初は参加者があるかと心配しましたが、予想外に多くの参加者があり、父親と楽器や風船などで遊びました。参加者からは、「子どもと楽しい時間が過ぎて良かった」との多くの声をいただきました。職員も、いつもの幼児クラブとは違った雰囲気でもとても新鮮でした。
 ・自由参加の幼児クラブの実施
 自由に参加できる幼児クラブをやってほしいという母親からの強い要望に応える形で、今年度より、事前申し込み不要で当日参加可能な幼児クラブ「ひつじクラブ」を始めました。朝のこどもの体調や気分に合わせて自由に参加できるため、大変人気があります。下半期も、ミニ運動会やボール遊びなど親子で体を動かすメニューを行いました。
 ・子育て応援アプリの活用(再掲②⑥)
 ホームページや、Instagramのほかに、子育て支援アプリ(母子モ)を活用し、行事等イベント情報を掲載して広く市民から参加者を募っています。徐々にアプリをみてイベントに参加したという利用者の声も聞かれるようになりました。
 ・長期休暇期間中に、正月飾り、エアチューブキーホルダー等の工作や大掃除、正月あそびを企画。多くの小学生が参加し、利用者増に繋がりました。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□職員研修の実施(安定性、安全性⑫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修会 児童館職員のスキルの向上を目的として、下半期は2回研修を行いました。 けん玉ショーとけん玉の実技指導(10/23日光)、絵本の読み聞かせのポイント(11/14長森) ・BCP(業務継続計画)研修会 自然災害や感染症発生時における業務継続について学習しました。 ・感染症予防対策研修会(11/15保健所) 研修後、感染症予防の徹底を再確認しました。 ・不審者対策研修会(11/29岐阜中警察署) 警察職員が不審者となり実際に実技指導を受けました。 ・虐待防止等人権擁護研修会(1/23県障がい者権利擁護センター) 児童だけでなく社会的弱者の人権について学習しました。 ・子どもの人権について(2/21人権啓発センター) 子どもの人権侵害について、センター職員による研修を実施しました。 <p>□リスクへの対応(安定性、安全性⑬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画(BCP)の作成と運用 自然災害や感染症発生時に職員がとるべき行動を定めるとともに、有事に適切に対応できるように、業務継続計画を作成し、運用を始めました。 <p>□地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3世代間交流事業(しめ縄づくり)(再掲③⑭) 老人クラブ、JAぎふ、児童とその親でしめ縄を作りました。大人に教えてもらいながら試行錯誤取り組むものの、なかなか思うようにいかず時間もオーバーしましたが、その分完成した時の喜びは倍増で、「家に帰ったらすぐ飾ろう」と大満足の様子でした。 ・学びの広場(学習支援) 地元ボランティア、羽島北高校の生徒にお願いし、春休みに実施しました。最初は緊張していた子供たちが、最後の方は「お兄さん先生」「お姉さん先生」と仲良くなり、楽しそうに勉強している姿が印象的でした。 ・「はるまつりスタッフ会議」「はるまつり」 羽島北高校、境川中学の生徒及び小学生にお手伝いをしてもらい実施しました。事前のスタッフ会議では、お互いいろいろな意見を出し合い準備をし、当日は声を出し合い大いに盛り上げてくれました。小学生にとっては、お兄さん、お姉さんと関わることが本当にうれしそうで、あっという間に時間が過ぎてしまいました。 ・ちびっこあきまつり 10月に幼児向けのあきまつりを開催しました。ママサークルの皆さんに事前の準備から当日のお手伝いまでをお世話になり、大盛況でした。子ども達のはじける笑顔がかわいかったです。 <p>□地元住民・高齢者・障がい者等の活用(貢献性⑭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜聖徳学園大学看護学科の学生と幼児とのふれあい(再掲③⑭) 実習の一環として、学生と利用者とのふれあいの場を設けました。母親は自分の子供の数年後の姿を思い浮かべながら学生たちと楽しく会話をしていました。また、当初は幼児クラブを見学するだけの予定でしたが、学生たちと一緒に活動に参加してもらい、子どもたちと仲良く遊びました。子ども達も大変喜んでいました。
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。 父親参加の講座「パパとあそぼう」、ギターと歌による読み聞かせ「絵本ライブ」等、新たな事業に取り組みました。また、職員による幼児向け読み聞かせ「よみきかせの会」では、小学生達にも、絵本の読み聞かせを行ってもらい、子ども達が主体的に活動する場を提供しました。</p> <p>○子どもの居場所づくりに取り組んでいる。 今期も、2名の不登校生徒に、遊戯室を居場所として提供しました。今後も、学校と連携して居場所の提供を行っていきます。</p> <p>○小中高校生とのつながりをもつ等、交流事業に取り組んでいる。 「はるまつりスタッフ会議」「はるまつり」「まなびの広場」「岐阜聖徳学園大学看護学科学生とのふれあい」等、幅広い年代層で交流を持てるような行事を企画、実施しました。幼児や小学生達は「お兄さん」「お姉さん」と遊ぶことができ、また高校生や大学生達は「かわいい小さな子供たち」に優しく声掛けしながら、楽しい時間を過ごしていました。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○虐待が疑われる幼児、児童に対して、幼児は保健センター、児童はエールぎふと連携を図っていきます。今期、虐待事例はありませんでしたが、引き続き虐待を見逃すことなく、悩んでいる母親がいたら傾聴し、見守りやアドバイスをしていきます。</p> <p>○今期から始めた「パパとあそぼう」について、学期ごとに開催する等継続して実施し、母親だけでなく、父親の来館者増に繋げていきます。</p>

●所管課の意見

- 父親と乳幼児の遊びを提供するため、講座を開始するなど取り組んだ。
- 中学校、高校の若い世代や老人クラブなど幅広い世代との交流に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・自由参加の幼児クラブを設けており、利用しやすい環境づくりに努めている点は評価できる。
- ・境川中学校等と連携するなど、異なる世代が交流できる場を提供している点は評価できる。